

2013(平成 25)年度 事業計画書

【公益事業】

ちひろ美術館（東京・安曇野）は、子どものしあわせと平和を願って子どもの絵を描きつづけた絵本画家いわさきちひろの業績と思いを伝え、文化の民主的・多面的発展に寄与する活動を行う。

絵本文化の拠点、絵本研究の拠点として、また、絵本を通じて、0歳から100歳を超える、子どもも大人も憩い楽しめる場として、地域の人々と協力しながら、東京・安曇野両ちひろ美術館の活動の充実に努める。

2013年4月1日より、いわさきちひろ記念事業団は公益財団法人に移行する。

2014年のいわさきちひろ没後40年、2017年の東京館開館40周年・安曇野館開館20周年、2018年のいわさきちひろ生誕100年を視野に入れつつ、本年は以下の活動を行う。

「ちひろの庭」「ちひろになれる！7つの法則—技法徹底解剖」等のちひろ展を開催、展覧会準備を通じて、いわさきちひろの作品・技法の研究を進める。

2014年のちひろ没後40年の記念展として、いわさきちひろと同時代の画家たち、いわさきちひろの水彩技法と琳派等々の視点での展示を想定し、研究・準備を進めていく。

コレクション画家の企画展、「ずっと長さんとともに—長新太が描いた子どもの本」（長新太展）や、世界的に活躍するチェコの画家「クヴィエタ・パツォウスカー展」、「画家たちのアトリエ展」等を開催し、展覧会を通して絵本研究、作家研究、技法研究を進める。

（絵本等に関する展覧会・講演会の開催／調査・研究）

制作後、40年以上が経過し、経年変化を余儀なくされるいわさきちひろの原画の中でも、特に絵本の原画のデジタル・アーカイブスを、本年から3ヵ年計画で重点的に進める。

（絵本等に関する作品・資料の収集・保存、並びに、調査・研究）

昨年、完成公開されたドキュメンタリー映画「いわさきちひろ27歳の旅立ち」の、人々の求めに応じた全国各地での自主上映を進めるとともに、上映にあわせて各地で講演活動を行い、可能な会場では複製画展等を開催し、いわさきちひろの絵と人生の紹介、並びに、絵本文化の普及・紹介活動を進める。

また、これまで行ったインタビュー等で得た50人近い生前のいわさきちひろを知る人々の証言を、ひとつのちひろ研究の集大成としてまとめ、書籍、HP等を通じて公開していく。

ちひろ美術館・東京では、館内で親と子が楽しめるワークショップ、近隣の学校と提携しての出前授業等、様々な絵本の教育活動、普及活動を行う。

安曇野ちひろ美術館では、中学生ボランティアによるさまざまな絵画技法体験や絵本の読み聞かせ等の活動、安曇野アートラインサマースクールでの地元地域の人々とのワークショップ活動をさらに充実させ、実施する。

（絵本等に関する教育活動）

絵本の専門美術館としての視点から、芸術性の高い魅力的な絵本や良質の絵本研究書を選び、来館者をはじめ、広く人々に紹介し、レファレンスや読書指導を行う。

また、幼い子どもたちにとっても親しみやすい絵本とその原画を扱う当館を、「ファースト・ミュージアム」と位置づけ、東京・安曇野それぞれの地域の子育て支援機関等と協力して、親と子を対象に魅力的な絵本等の紹介や読み聞かせ活動等、絵本等の普及活動、支援活動を進める。

開催国・開催会場と協力して、ロシアのサンクトペテルブルグ国立児童図書館で複製画等による「いわさきちひろ展」を開催。また、国際交流基金ベトナム日本文化交流センターとの共催で、ピエゾグラフ作品による「窓ぎわのトットちゃん展」を開催するなど、いわさきちひろとちひろ美術館の紹介・普及を進め、絵本に関する国際交流、支援活動に努める。

県立子ども病院（長野県）、聖路加病院、東京女子医大病院（東京都）、埼玉医科大周産期医療センター（埼玉県）等で、いわさきちひろのピエゾグラフ作品を展示するとともに、子ども病院では、院内授業の一環として、絵本の読み聞かせや水彩技法のワークショップ等を実施、医療現場での普及と支援の活動を進める。

東日本大震災の被災地、長野県北部の地震被災地・栄村等の求めに応じ、ちひろの複製画やピエゾグラフ作品を貸し出し、展示の開催にあわせて講演会やワークショップを行うなど、絵本と文化の側面から、復興支援を継続的に行う。

（絵本等に関する普及活動／支援活動）

絵本美術館を構想する韓国の絵本研究者や絵本作家等の研修を安曇野ちひろ美術館で受け入れ、交流を深めるとともに、それぞれの活動や研究を支援する。

（絵本等に関する国際交流）

両館ともに、国内外からの来館者を迎え、来館者にとって居心地のよい場を提供するとともに、来館者のさらなる満足に繋がるよう、接遇のスキルを高め、スタッフのホスピタリティ向上に努める。

来館者の展覧会鑑賞がより豊かなものとなるよう、休息を兼ねてゆっくりと絵本や複製画の展示が楽しめる絵本カフェの運営を行う。

建設後16年を過ぎ、経年劣化等により補修が必要となった安曇野ちひろ美術館の屋根の鋼板の改修工事等を行うほか、来館者にとって憩いの空間であり続けられるよう、東京・安曇野両館の建物・設備のメンテナンスを行う。

【収益事業】

来館者の展覧会鑑賞がより豊かなものとなるよう、絵本の専門美術館として、長年に渡り絵本と文化に関わってきた当財団独自の視点で、美術館を楽しみ、日々の暮らしを彩り、豊かなものとするようなミュージアムグッズをセレクトして販売する。併せて、優れたデザインで安全な素材のおもちゃ、絵を描くための画材等、美術や絵本を楽しむことに繋がるグッズ等を取り扱い、魅力的なミュージアムショップの運営を行う。

■2013年度展示一覧

	展示名	実施時期	実施場所
ちひろ美術館・東京での展覧会・講演会、ギャラリートーク等 【ちひろ展】	ちひろの庭	3月1日～5月19日	ちひろ美術館・東京
	—平和で、豊かで、美しく、可愛いものがほんとうに好きで— いわさきちひろ展	5月22日～8月4日	ちひろ美術館・東京
	ちひろ・絵本づくりの現場	8月7日～10月27日	ちひろ美術館・東京
	ちひろと初山滋 —永遠のコドモ—	10月30日～2014年1月31日	ちひろ美術館・東京
【企画展】	日中国交正常化40周年記念 中国の絵本画家展	3月1日～5月19日	ちひろ美術館・東京
	手から手へ展 —絵本作家から子どもたちへ 3.11後のメッセージ—	5月22日～8月4日	ちひろ美術館・東京
	ずっと長さんとともに —長新太が描いた子どもの本—	8月7日～10月27日	ちひろ美術館・東京
	初山滋の木版画	10月30日～2014年1月31日	ちひろ美術館・東京
安曇野ちひろ美術館での展覧会・講演会、ギャラリートーク等 【ちひろ展】	ちひろの軌跡	3月1日～5月7日	安曇野ちひろ美術館
	ちひろの子ども歳時記	5月10日～7月9日	安曇野ちひろ美術館
	ちひろになれる！7つの法則 —技法徹底解剖—	7月12日～9月17日	安曇野ちひろ美術館
	ちひろのアトリエ —東京・黒姫—	9月20日～11月30日	安曇野ちひろ美術館
	ちひろの人生	通年	安曇野ちひろ美術館
【世界の絵本画家コレクション展】	ちひろ美術館コレクション 読みつがれる絵本 語りつがれる物語	3月1日～5月7日	安曇野ちひろ美術館
	ちひろ美術館コレクション 絵本のつくり方	5月10日～7月9日	安曇野ちひろ美術館
	ちひろ美術館コレクション 貼る・塗る・摺る —絵本画家たちの技法と画材—	7月12日～9月17日	安曇野ちひろ美術館
	ちひろ美術館コレクション 画家たちのアトリエ	9月20日～11月30日	安曇野ちひろ美術館
	絵本の歴史	通年	安曇野ちひろ美術館
【企画展】	手から手へ展 —絵本作家から子どもたちへ 3.11後のメッセージ—	3月1日～5月7日	安曇野ちひろ美術館
	色の音 紙の詩 クヴィエタ・パツオウスカー展	7月12日～9月17日	安曇野ちひろ美術館
他館と提携する展覧会・講演会	いわさきちひろ展	4月27日～6月2日	北海道立近代美術館
	いわさきちひろ展	7月25日～8月25日	岩手県立美術館